

安全な暮らしを守るために

市消防局マスコットキャラクター
リスキュー



西消防署では



西消防署(発寒10-4)は、本署の他に管内にある3つの出張所(八軒・西野・平和)で構成され、輪島俊光署長以下138人(平成25年4月1日現在)の署員を配置しています。日ごろから、地域の皆さんをさまざまな災害から守るために訓練を重ねるとともに、火災予防行事の際には火災を防ぐための注意点などを幅広く呼び掛けています。

西消防団では



西区には、西町・発寒・西野・八軒・琴似の5分団から組織される札幌市西消防団(伊部義幸団長)というボランティア的な組織があります。普段は農業や自営業、会社員、主婦などをしている方々が、郷土愛護精神に基づいて、ひとたび災害が起こった時には、職場や自宅などから出動して消防署と連携しながら、消防活動を行っています。このほか、災害対応以外にも、地域住民に対して、応急手当の知識について、幅広く呼び掛けるなどの普及活動をしています。

見に行ってみよう!

消防総合訓練大会開催



6月22日(土)
13:00~

札幌市西消防団の団員195人が、日ごろの訓練成果を披露します。この機会にぜひ、見学してみませんか。

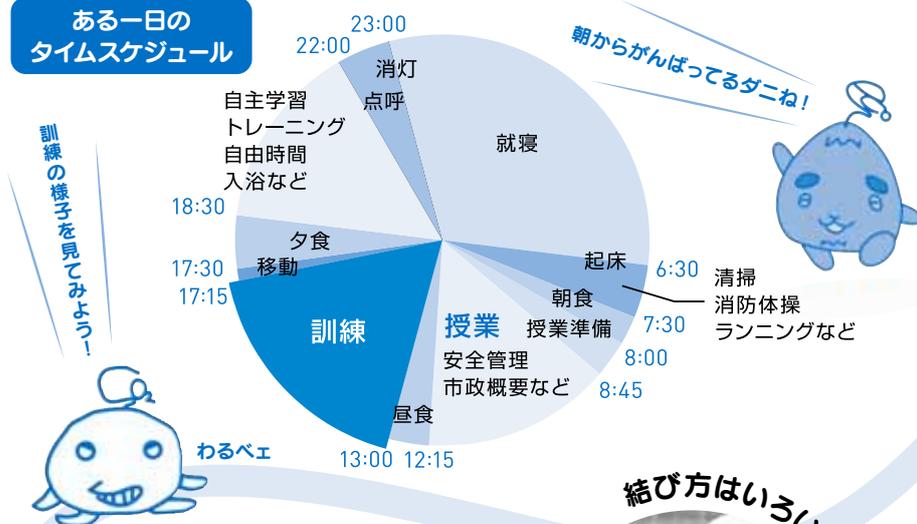
場所 札幌市消防学校(八軒10西13)

消防署・西消防団消防総合訓練大会に関すること
西消防署予防課 ☎667-2100

3 訓練生の1日は?

市民の安全を守るために、火災はもちろん、ガス事故、交通事故、水難事故、地震、自然災害など、あらゆる現場に対応できる専門的な知識や技術を学びます。

ある一日の タイムスケジュール



■ 救助訓練(ロープ結索)

要救助者の救出や隊員の安全を守るために、災害現場でのロープの使い方を学ぶ訓練です。さまざまな結び方を繰り返し練習します。



■ 機器取扱訓練(空気呼吸器取扱)

■ 機器取扱訓練(空気呼吸器取扱)

煙や有毒ガスなどが立ち込める場所で消火や救助活動を行うとき、隊員が息をするために必要な空気を送る器具の使い方を学びます。



■ 放水訓練(ホース延長・放水)

火災現場で消防車からホースを肩に担ぎ、いち早くホースを延ばして放水します。訓練生のチームワークが大事な訓練です。



卒業式

すべての訓練を終えたら卒業!

6カ月にわたる消防学校での基礎教育を修了した訓練生は、例年9月末に行われる卒業式を最後に、市内の消防署などに正職員として配属され現場に出ていきます。

消防学校や訓練風景を見学できます

- 見学は月曜~金曜の平日(祝日を除く)
- 希望の場合は下記までお問い合わせください。
消防学校教務課 ☎616-2262

